



全国の地方競馬場

全国の地方競馬場には、約300名の現役騎手がいます

地方競馬
とは？

地方競馬を開催する主催者は、全国で14団体あり、全国12都道県にある全15カ所の競馬場で平日・休日問わず、年間を通してほぼ毎日、どこかの競馬場で開催されています。基本的に、騎手は所属する地元の競馬場でレースに臨みますが、腕が認められれば全国各地の大レースを巡って、日本中を飛び回ることも！ 海外での騎乗機会も夢ではありません。

地方競馬教養センターで学んだ生徒は
日本中の競馬場で騎手として
活躍しています！



オープンキャンパスのご案内

騎手課程の受験を希望する方を対象に、オープンキャンパスを実施しています。
現在在籍している騎手候補生の日課（騎乗訓練、厩舎作業など）を実際に見学する事ができます。参加を希望する方は地方競馬教養センターまでお問い合わせください。

騎手候補生入所試験

受験資格について

年齢 中学校を卒業した者または卒業見込みの者で、
入所する年の4月1日時点の年齢が20歳以下の者

体重 基準日(4/1)時点の年齢ごとに定められた
規定体重以下

乗馬経験
不問
(審査の対象としません)

年齢区分	体重
15歳以上	15歳6か月未満 44.0キロ
15歳6か月以上	16歳未満 44.5キロ
16歳以上	16歳6か月未満 45.0キロ
16歳6か月以上	17歳未満 45.5キロ
17歳以上	17歳6か月未満 46.0キロ
17歳6か月以上	18歳未満 46.5キロ
18歳以上	47.0キロ

色別力、聴力、健康状態 騎手としての業務を行うのに支障がない者

視力 両目とも0.6以上 ソフトコンタクト使用可 制限が緩和されました

科目試験

身体(体重・視力等)、運動機能(体力測定)、人物(面接)

必要な費用 入所中に

食費 約 86 万円（約19ヵ月、1日:1,470円）

入学金及び授業料は無償!食費のみとなります!通信費、日用雑貨購入費、嗜好品購入費等、日常生活における経費については、自己負担となります。

※食費は、原則として学期毎の納入となります。（第4学期の競馬場実習期間中は、食費は別途必要です。）※騎手候補生の家庭状況により負担が困難と認められる場合には、微収を猶予する制度があります。※受験資格、試験科目、費用は改定することがあります。

入所試験時期

応募	試験	入所	課程期間
9月	1月	4月	24ヵ月



地方競馬教養センター

T329-2807 にわとこ
栃木県那須塩原市接骨木443 | JR東北新幹線那須塩原駅から
タクシー・車で15分

騎手志望者、保護者の見学は随時受付しています。
月～土の午前中の騎乗訓練時間帯がおすすめです。

見学・入所等に関する
問い合わせは…

TEL:0287-36-5511代
E-mail:jockey@nar.keiba.go.jp

詳細はインターネットで ▶ <https://www.keiba.go.jp/> 教養センター 検索



Twitter



HP



Instagram

写真:NAR、いしかわ

地方競馬教養センター

騎手課程

次の勝者は、君だ





令和3年10月新本館オープン!

より良い環境で騎手について
学べるよう新本館がオープンしました!

相棒と共に未来を掴む、騎手の魅力を知る。

自分次第で
大きなチャンスを
掴む事ができる

自分を信じて努力を続ければ、い
つかそれが実を結ぶ時が来る。ま
た、実力があれば若くして大きな
活躍をする事もできる職業です。

騎手は長く
続けられる職業

騎手の世界では20代、30代と
キャリアを重ねるうち、経験が豊
富になり、40代に円熟期を迎える
騎手も珍しくはありません。中には、還暦60歳を超えてなお第一
線で現役の騎手も。

騎手になるには?

入所試験

地方競馬教養センター《騎手課程》 4月入所

1年目



馬場馬術練習
第1学期(6か月間)
基本馬術訓練



馬場馬術及び競走訓練
第2学期(6か月間)

2年目



競走訓練
第3学期(4か月間)



競馬場実習及び教養センター
での総合訓練
第4学期(8か月間)

騎手免許試験

騎手デビュー!

地方競馬のジョッキーを目指す騎手候補生の一日の生活(例)

5:30	起 床	
5:35	体 重 測 定	
6:00	体 操	
6:15	厩 舎 作 業	
7:50	朝 食	
8:30~11:30	騎 乘 訓 練	
12:00	昼 食	
13:15~14:50	学 科 授 業	
15:00~17:00	厩舎作業・馬手入れ	
18:00	夕 食	
18:30	自 主 レ・自由時間等	
21:15	消 灯	

※夏季は涼しい早朝に訓練を行はうほか、休日や行事の開催で
変更となる場合があります。

同じ夢を目指す
仲間たちとの、
かけがえのない日々



未来のホースマンの最新情報はこちら→

先輩が語る騎手の魅力



20代でホッカイドウ競馬
リーディングジョッキー!

1995年生まれ。2013年騎手免許取得。2015年には早くも地元のダービーである北海優駿の優勝騎手となり、20代にして年間最多勝利騎手。米川昇厩舎所属、勝負服は胴白・緑山形一本輪・袖緑。

入所以前の乗馬経験は、体験乗馬くらいでした。その為、経験者に追いつくために、とにかく必死で頑張りました。入所してから免許が交付されるまで、辛いことや苦しいことが沢山あるかもしれません、自分の目標や夢を大切にしてプロを目指して頑張ってほしいです!

第1回JBC2歳優駿(JpnⅢ、1着賞金3,000万円※)では、ラッキードリーム号に騎乗し優勝しました。大きいレースでの勝利は関係者もとても喜んでくれ、「騎手を続けてきてよかったです」と実感しました。厳しい勝負の世界ですが、騎手でしか味わうことが出来ない感動が必ずある、とてもやりがいのある仕事です。

※ 1着賞金の5%相当額が、進上金として騎手に支払われます

教官からのメッセージ



大学馬術の全国大会経験者、
元地方競馬騎手。

経験豊富な教官たちが、
確かな指導を行います。

騎手を目指すにあたり、プロのアスリートとして全力を発揮するための精神、技術の鍛錬・社会人として自覚ある行動をするための人間性向上。つまり、人を魅了し、人に見られる立場になる覚悟をもって高みを目指し続けることが求められます。

トップジョッキーと呼ばれる人たちほど貪欲ですし、それが一流にさせ、一流で居続けられるエネルギーだと思います。

センターは親元を離れて、寄宿舎での団体生活になります。不安もあると思いますが、我々スタッフは全力でサポートします。同じ目標を持った仲間と切磋琢磨して、プロの騎手を目指しましょう!